

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年9月30日
【事業年度】	第54期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	山一電機株式会社
【英訳名】	YAMAICHI ELECTRONICS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 織田 俊司
【本店の所在の場所】	東京都大田区中馬込三丁目28番7号
【電話番号】	(03)3778-6111(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 加藤 勝市
【最寄りの連絡場所】	東京都大田区中馬込三丁目28番7号
【電話番号】	(03)3778-6111(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 加藤 勝市
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日に提出いたしました第54期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき箇所がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
- 4 事業等のリスク
- 7 財政状態及び経営成績の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

4【事業等のリスク】

1.～9.省略

10. 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況があるリスクについて

（訂正前）

詳細につきましては、「第一部 企業情報 第5 経理の状況 1. 連結財務諸表等」及び「第一部 企業情報 第5 経理の状況 2. 財務諸表等」に記載の「継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況」のとおりであります。

（訂正後）

当社グループは、前連結会計年度448,469千円、当連結会計年度2,891,295千円の営業損失を計上し、また、前連結会計年度3,353,128千円、当連結会計年度4,721,163千円の当期純損失を計上しております。

また、当社は、前事業年度634,786千円、当事業年度2,467,051千円の営業損失を計上し、また、前事業年度5,052,993千円、当事業年度4,021,605千円の当期純損失を計上しております。

当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

7【財政状態及び経営成績の分析】

(1)～(2)省略

(3) 継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等についての対応策

（訂正前）

当社グループは、今後総費用として10%削減する予定であります。主な取組み等につきましては、「第一部 企業情報等 第2 事業の状況 3. 対処すべき課題 (1) 対処方針」に記載のとおりであります。

また、主力金融機関との間で借入金の借換えとともに新たな融資について交渉を続けております。

（訂正後）

当社グループは、前連結会計年度448,469千円、当連結会計年度2,891,295千円の営業損失を計上し、また、前連結会計年度3,353,128千円、当連結会計年度4,721,163千円の当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消しまたは改善すべく、人件費削減を目的とした当連結会計年度末における早期退職制度の導入及び翌連結会計年度における役員報酬、従業員給与及び賞与の更なる減額の実施、また、減価償却費削減を目的とした設備投資の抑制などにより平成21年度の固定費を前連結会計年度比20億円削減する計画のほか、変動費比率の改善計画等とあわせ今後総費用として10%削減する予定であります。

また、資金確保につきましては、主力金融機関との間で借入金の借換えとともに新たな融資について交渉を続けております。